

**美術**

☆官立展の流れ 1 **文展**(1907)→2 **帝展** (帝国美術院展覧会 1919)→新文展(1935)→日展(1946)



<画家と作品>

**日本画** 11 **竹内栖鳳**(「班猫」)、川合玉堂(「行く春」)、前田青邨(「洞窟の頼朝」)、富岡鉄斎、  
 安田靉彦(「黄瀬川の陣」)、鏑木清方(「築地明石町」)、上村松園(「夕暮」)、速水御舟(「炎舞」)

**洋画** 12 **梅原龍三郎** (フランス留学 ルノアールに師事、二科会・春陽会 「12 **紫禁城**」)  
 13 **安井曾太郎** (フランス留学 二科会 「14 **金蓉**」)、15 **岸田劉生** (「16 **麗子像**」)、  
 中村彝(「エロシエンコ氏の像」) 万鉄五郎(「もたれて立つ人」…キュービズム)

**新しい絵画** 17 **竹久夢二** …叙情画家 ロマン的的女性風俗画で人気 <例>「黒船屋」

<その他>

彫刻 18 **高村光太郎** (光雲の子)「手」「鯨」 19 **平櫛田中** 「転生」

建築 20 **ライト**[米] …旧帝国ホテル本館 1922

民芸 21 **柳宗悦** …白樺派 浜田庄司(陶芸家)らと22 **民芸運動**を推進 日本民芸館設立(1936)  
 朝鮮や沖縄の文化も評価 三・一独立運動に共感(『朝鮮人を想う』など)

【時期問題に挑戦】センター1998年度追試B

1910年代から20年代の文化・学問に関して述べた文として誤っているものを、一つ選べ。

- ① 細菌学の野口英世が国際的水準の研究成果をあげた。
- ② 小山内薫が創立した築地小劇場は、翻訳劇を中心とする新劇運動の拠点となった。
- ③ X 文部省は、国家主義教育を強化するために、小学校の教科書を国定化した。
- ④ 梅原竜三郎らの洋画家が、文部省美術展覧会(文展)に対抗して二科会を結成した。

## 学問・思想

※ジャーナリズムの発達・政府批判

23総合雑誌…政治・社会・文化一般についての作品や評論を掲載

<例>『24中央公論』※創刊は明治、『25改造』(1919. 26山本実彦ら)

『27東洋経済新報』(経済誌)の三浦鏡太郎、28石橋湛山 (29小日本主義…植民地放棄論)

『30大阪朝日新聞』の鳥居素川・大山郁夫・31長谷川如是閑・丸山幹治らが寺内内閣を批判

→政府の弾圧(白虹事件)で退社 ……………▶ 評論雑誌『我等』へ

**法学** 32美濃部達吉の33天皇機関説(国家法人説)…『憲法講話』(1912)など

統治権の主体は国家 天皇はその最高機関 →34穂積八東・35上杉慎吉(天皇主権説)と論争

36吉野作造の37民本主義…主権在君を前提としつつ、世論の尊重、多数の人民の参政を求める。

論文「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」(1916『38中央公論』)

→39黎明会(1918~20)…啓蒙運動 吉野作造・福田徳三(経済学者)・新渡戸稲造(教育家)ら

※40新渡戸稲造…国連事務局次長 国際平和を主張 『41武士道』(日本文化を紹介)

**経済** 42マルクス主義経済学の発達…資本主義の生産様式を分析 社会主義理論の一つ

43河上肇 ……評論『44貧乏物語』を朝日新聞に連載(1916)

45森戸辰男 ……無政府主義者クロポトキンを研究→危険思想として弾圧(1920年 46森戸事件)

☆47日本資本主義論争…明治維新などの分析をめぐるマルクス主義学者間での論争

{ 48講座派(『49日本資本主義発達史講座』1931)…共産党系

野呂栄太郎・山田盛太郎・服部之総・羽仁五郎ら

{ 50労農派(『51労農』1927)…櫛田民蔵、猪俣津南雄ら 反共産党系 →第二次人民戦線事件

**哲学** 52西田幾多郎 ……仏教と西洋哲学の融合(53西田哲学) 『54善の研究』1911.

他に、55和辻哲郎(『56古寺巡礼』『日本精神史研究』)、阿部次郎(『三太郎の日記』)、

安倍能成(のち文相)、桑木厳翼、田中王堂、西晋一郎、田辺元ら

**歴史** 57津田左右吉 ……記紀の文献的批判 『58神代史の研究』『古事記及日本書紀の研究』

他に、白鳥庫吉・内藤湖南(東洋史)、三浦周行・西田直二郎・中田薫(日本史)

**民俗** 59柳田国男 ……60民俗学の確立(民間伝承など) 『61遠野物語』ほか

62南方熊楠 ……植物学・微生物学でも実績 神社合祀政策による社林伐採に反対

63伊波普猷…「沖縄学の父」 古代歌謡「おもろそうし」の研究など

**自然科学** 64野口英世 ……65黄熱病の研究 梅毒スピロヘータの純粋培養に成功

66本多光太郎 ……鉄鋼学研究 67K S磁石鋼(当時最強の磁力)の発明(1917)

→さらに三島徳七によるMK磁石鋼(1932)

68八木秀次(電気工学[八木アンテナ]) 仁科芳雄(物理学 原子物理学など) 高木貞治(数学)

☆研究機関 69理化学研究所 (1917. 半官半民) 航空研究所(1918. 東大)

北里研究所(1914) 鉄鋼研究所(1919. 東北大) 地震研究所(1918. 東大) 東京天文台など

**美術**

☆官立展の流れ 1文展(1907)→2\_\_\_\_\_ (帝国美術院展覧会 1919)→新文展(1935)→日展(1946)

文展系への不満・対抗	}	日本画 3日本美術院の再興(1914)…4_____ 「5生々流転」、6下村観山ら
		……「7_____」を開催(1920～) 他に小林古径(「髪」)ら
		国画創作協会結成(1918) …小野竹喬・土田麦僊ら京都画壇日本画の若手
		……「国展」を開催 →1926年に洋画部設立(梅原竜三郎ら)、翌年日本画部は解散
		洋画 8フューザン会(1912)…高村光太郎・岸田劉生ら設立 →草土社(1915)
		9_____ (1914)…文展洋画部の若手(有島生馬・石井柏亭ら)が独立
		10_____ (1922)…日本美術院洋画部の山本 鼎 らが設立

<画家と作品>

日本画 11竹内栖鳳(「班猫」)、川合玉堂(「行く春」)、前田青邨(「洞窟の頼朝」)、富岡鉄斎、安田靉彦(「黄瀬川の陣」)、鏑木清方(「築地明石町」)、上村松園(「夕暮」)、速水御舟(「炎舞」)

洋画 12\_\_\_\_\_ (フランス留学 ルノアールに師事、二科会・春陽会 「12紫禁城」)

13\_\_\_\_\_ (フランス留学 二科会 「14金蓉」)、15\_\_\_\_\_ (「16麗子像」)、中村彝(「エロシエンコ氏の像」) 万鉄五郎(「もたれて立つ人」…キュビズム)

新しい絵画 17\_\_\_\_\_ …叙情画家 ロマン的的女性風俗画で人気 <例>「黒船屋」

<その他>

彫刻 18\_\_\_\_\_ (光雲の子)「手」「鯨」 19平櫛田中「転生」

建築 20ライト[米] …旧帝国ホテル本館 1922

民芸 21\_\_\_\_\_ …白樺派 浜田庄司(陶芸家)らと22民芸運動を推進 日本民芸館設立(1936) 朝鮮や沖縄の文化も評価 三・一独立運動に共感(『朝鮮人を想う』など)

【時期問題に挑戦】センター1998年度追試B

1910年代から20年代の文化・学問に関して述べた文として誤っているものを、一つ選べ。

- ① 細菌学の野口英世が国際的水準の研究成果をあげた。
- ② 小山内薫が創立した築地小劇場は、翻訳劇を中心とする新劇運動の拠点となった。
- ③ 文部省は、国家主義教育を強化するために、小学校の教科書を国定化した。
- ④ 梅原竜三郎らの洋画家が、文部省美術展覧会(文展)に対抗して二科会を結成した。

## 学問・思想

※ジャーナリズムの発達・政府批判

23 総合雑誌…政治・社会・文化一般についての作品や評論を掲載

<例>『24 \_\_\_\_\_』※創刊は明治、『25 \_\_\_\_\_』(1919. 26 山本実彦ら)

『27 東洋経済新報』(経済誌)の三浦鏡太郎、28 \_\_\_\_\_ (29 小日本主義…植民地放棄論)

『30 大阪朝日新聞』の鳥居素川・大山郁夫・31 長谷川如是閑・丸山幹治らが寺内内閣を批判

→政府の弾圧(白虹事件)で退社 ……………▶ 評論雑誌『我等』へ

**法学** 32 美濃部達吉の33 天皇機関説(国家法人説)…『憲法講話』(1912)など

統治権の主体は国家 天皇はその最高機関 →34 穂積八東・35 上杉慎吉(天皇主権説)と論争

36 吉野作造の37 民本主義…主権在君を前提としつつ、世論の尊重、多数の人民の参政を求める。

論文「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」(1916 『38 中央公論』)

→39 黎明会(1918~20)…啓蒙運動 吉野作造・福田徳三(経済学者)・新渡戸稻造(教育家)ら

※40 新渡戸稻造…国連事務局次長 国際平和を主張 『41 武士道』(日本文化を紹介)

**経済** 42 マルクス主義経済学の発達…資本主義の生産様式を分析 社会主義理論の一つ

43 \_\_\_\_\_ …評論『44 \_\_\_\_\_』を朝日新聞に連載(1916)

45 \_\_\_\_\_ …無政府主義者クロポトキンを研究→危険思想として弾圧(1920年 46 森戸事件)

☆47 日本資本主義論争…明治維新などの分析をめぐるマルクス主義学者間での論争

48 講座派(『49 日本資本主義発達史講座』1931)…共産党系

野呂栄太郎・山田盛太郎・服部之総・羽仁五郎ら

50 労農派(『51 労農』1927)…櫛田民蔵、猪俣津南雄ら 反共産党系 →第二次人民戦線事件

**哲学** 52 \_\_\_\_\_ …仏教と西洋哲学の融合(53 西田哲学) 『54 善の研究』1911.

他に、55 和辻哲郎(『56 古寺巡礼』『日本精神史研究』)、阿部次郎(『三太郎の日記』)、

安倍能成(のち文相)、桑木厳翼、田中王堂、西晋一郎、田辺元ら

**歴史** 57 \_\_\_\_\_ …記紀の文献的批判 『58 神代史の研究』『古事記及日本書紀の研究』

他に、白鳥庫吉・内藤湖南(東洋史)、三浦周行・西田直二郎・中田薫(日本史)

**民俗** 59 \_\_\_\_\_ …60 民俗学の確立(民間伝承など) 『61 遠野物語』ほか

62 \_\_\_\_\_ …植物学・微生物学でも実績 神社祭祀政策による社林伐採に反対

63 伊波普猷…「沖繩学の父」 古代歌謡「おもろそうし」の研究など

**自然科学** 64 \_\_\_\_\_ …65 黄熱病の研究 梅毒スピロヘータの純粋培養に成功

66 \_\_\_\_\_ …鉄鋼学研究 67 K S 磁石鋼(当時最強の磁力)の発明(1917)

→さらに三島徳七によるMK 磁石鋼(1932)

68 八木秀次(電気工学[八木アンテナ]) 仁科芳雄(物理学 原子物理学など) 高木貞治(数学)

☆研究機関 69 \_\_\_\_\_ (1917. 半官半民) 航空研究所(1918. 東大)

北里研究所(1914) 鉄鋼研究所(1919. 東北大) 地震研究所(1918. 東大) 東京天文台など